

# 須賀川労働基準協会 通信 (24年10月)

今年ほど残暑が厳しかった年は記憶にありません。気温の高さもありますが、いつまでも暑い日が続き、その点でも記憶に残る年になるのではないかと思います。それでも、秋の彼岸が過ぎたころにはさすがに朝晩の気温が下がり、9月下旬には長袖に衣替え、季節は確実に変化しています。

年度で見れば、上半期が終了し、折り返しを過ぎました。下記の報告の通り、上期の講習受講者数は前年度を上回っております。受講していただいた、皆様に感謝申し上げます。

## 「衛生管理者能力向上教育」

7月4日、5日

毎年一回実施している、「衛生管理者能力向上教育」を開催いたしました。一度資格を取ってしまうと、改めて勉強する機会はなかなかないものです。企業において重い責任を負う、衛生管理者へのフォローアップ教育です。衛生管理者の仕事の重要性を再確認し、自分のスキルに磨きをかける機会となっております。



小人数の討議で考え方を整理

## 「リスクアセスメント推進協議会」

7月27日

3年目を迎えた、須賀川地区リスクアセスメント推進協議会の今年度第一回目の協議会が開催しました。今回は1回目ということもあり、年度の活動計画も話し合いました。講師の宗像先生から、「リスクアセスメントを導入する時の留意点」について、アドバイスを受けました。



< 講師よりRAの導入と定着までの留意点を説明 >

## 「ガス溶接技能講習」

7月28日

ガス溶接は年2回実施しております。例年、岩瀬農業高校の生徒さんが、社会人に交じってこの技能講習を受講しております。



ガス溶接の実習

## 「職長教育」(製造系) 8月9日、10日

職長教育は職場を預かる管理者・監督者向けの安全教育ですが、安全を中心とした職場管理全般にわたって要求される知識・技能を習得するものです。お勧めの講習会です。



講義方式(左の写真)と討議方式で講習。討議方式では代表者が報告。職長教育の基本のパターン。



## 「職長・安全責任者教育」(建設系) 8月28日、29日

職長・安責者教育は「建設業における職長教育」で、一つの現場に一名の安全責任者を置かなければならない「建設業」にとっては基本的な教育講習になっています。  
今回は震災復興で忙しい業界の状況を反映して、大勢の皆さんに受講していただきました。



大勢の方に受講いただいた雰囲気が出ているでしょうか(グループ討議の報告の様子)

## 「衛生週間説明会」 9月5日

衛生週間は10月1日から一週間、日本全国で展開されます。毎年、衛生週間を前に、その準備と衛生週間中の活動について、説明をするのが衛生週間説明会のメインのテーマになります。

また、この機会に「安全衛生」に関連のある、講演をお願いしており、今年は「安全衛生マネジメントシステム(OHSAS)の認証を受けた、二見屋工業の矢ヶ崎社長に講演をお願いいたしました。



岩井監督官からの説明



矢ヶ崎社長の講演

## 「KYT基礎4ラウンド研修会」 9月6日

企業の安全活動の基礎である「KYT基礎4ラウンド研修」を年2回実施しています。危険予知訓練と呼ばれるこの手法は、現場で働く人たちが、職場の危険性を認識し、安全のために、自分たち自身で実施すべきことを決めていく手法です。



写真は  
「ゼロ災で行こう。よし！」  
指さし唱和の様子。

協会が予定している講習会及び受付をしている講習会等  
ご案内は、インターネットでも、ご覧いただけます。  
<http://www11.ocn.ne.jp/~srkkyo/index.html>